

## 社団法人山形県歯科技工士会 創立50周年記念大会



厚生労働大臣・日本歯科技工士会・山形県歯科技工士会表彰者記念撮影

山形県歯科技工士会は、昭和30年に創立され今年で50周年という記念すべき年を迎えた。それを記念して10月16日（日）ホテルキャッスルにて創立50周年記念大会を開催した。50年前にわずか12名で発足した本会は現在210余名の会員を擁する組織に発展しており、ここまで築き上げて来た諸先輩の努力に感謝し、更なる発展を誓った。記念大会は、記念講演、記念式典と祝賀会が行われ、県行政、県歯科医師会、歯科衛生士会、日本歯科技工士会をはじめ多数の関係団体来賓と会員とで、この記念すべき創立50周年を祝った。記念講演では、中西茂昭日技会長が、「歯科技工界に未来はあるのか」と題して次世代へと続く未来への歯科技工士像について述べられた。式典では、赤塚幸伸山歯技会長が「歯科技工士の職業としての技術の研鑽、身分の確立、生活の安定を求め努力をしてきています。このことは半世紀を経過した今も受け継がれています。しかしながら、我々を取り巻く様々な環境の変化で歯科技工士にはたくさんの方がいますが会員一丸となって取り組んで生きたいと思えます。」と式辞を述べた。また、中西日技会長が「9月18日、日技に於いて創立50周年記念大会を東京のフォーラムにて両陛下にご臨席いただき天皇陛下から暖かい、涙が出るようなお言葉を頂戴いたしました。天皇陛下に於かれましても、歯科技工士の大切さを十分にご認識をいただき、労い、励ましていただけたものと受け止めております。そういった多くの期待に応えるためにもいっそうの精進をすると、そういう決意も新たにさせていただければと思います。山歯技の限りないご発展と、会員皆様方のますますの御健勝、御活躍そして御多幸を心からお祈り申し上げます。」と挨拶を述べられ、青山永策山形県健康福祉部長が「県も百年後にも誇りに思える元気な山形づくりを目指して取り組んでいます。山歯技の皆様も山形県の歯科保健医療の充実、ひいては県民の健康維持・増進のため、引き続きご協力を願う。」と齋藤弘山形県知事の祝辞を代読し、佐藤 博嗣山形県歯科医師会長が「山歯技とは全国に例を

見ない長年に亘り、共催学会等で親密なるデンタルファミリーの間柄であり、これからも共に県民のためにより良い歯科医療を目指していきましょう。」と祝辞を述べられた。続いて、歯科技工士会に貢献された諸先輩方に日本歯科技工士会表彰、山形県歯科技工士会表彰者授与式が行われた。なお表彰者は次のとおりです。おめでとうございます。

厚生労働大臣表彰 河野 晴夫 君 (置賜支部)

日 技 会 長 表 彰 卯月 清治 君 (村山支部)

自由民主党総裁感謝状表彰 工藤 龍竝衛 君 (中央支部)

### 山形県歯科技工士会長表彰

後藤 和雄 君 (庄内支部) 手塚 秀次 君 (置賜支部)

小野 光彦 君 (村山支部) 鈴木 良仁 君 (中央支部)

祝賀会では、初めに先輩方が築き上げてくださいました山歯技の50年の歩みが厳粛に朗読され、多くの来賓をお招きして50周年の歴史とこれからの展望等を語らいながら和やかに行なわれた。そして、この大会を機に団結心を誓い更なる一步を進みだした。なお、この記念大会の写真に関しましては、山歯技ホームページにございますので、是非ご覧下さい。

### 第10回東北南三県野球大会

10月2日(日)宮城県南郷町野球場にて東北南三県野球大会が行われた。山形県代表は、村山支部6名、中央支部5名、庄内支部2名(応援団長1名)、助っ人1名の14名編制で今大会に望んだ。前日からの雨で、決してコンディションが良いとは言えず、さらに日頃の練習不足(各自の自主トレに任せているのでほとんどブツツケ本番状態)もあり、不安な幕開けとなった。

第一試合は、宮城県対福島県で11:5で宮城県の勝ち。

第二試合は、我がドラゴンズカラー山形県対福島県。初回、山形は相手のミスに付け込みフォアボール、エラー、そしてヒット、まるで強豪予選を勝ち進んできたチームのように、そつのない攻めで大量6点(近年無かった)を挙げ、意気揚々とスタート。しかし、良いことは続かず早くも2回から息切れ状態、その裏に逆転され後半は取ったり取られたり、終わってみれば7:11で惜しくも負けました。んー!何で負けたんだろう狐につままれたようだ。

午後からは気を取り直して宮城県との因縁の対決であった。(どこが因縁なのかは当事者のみが知っているところである。)立ち上りは五分五分で前半は少々押され気味、最終回ヒットが続いて2アウトながら満塁となり一打出れば、、、。という所まで行きましたが惜しくもここまで。しかし、来年に期待が持てる試合運びとなりました。老体に鞭打ちながらいい汗かいた選手の皆様、お疲れ様でした。試合結果はご覧のとおりです。

追伸、会員の方でフレッシュ野球、又は口だけ野球ができる方『楽天家大募集中』



	1	2	3	4	5	計
山形県	6	0	1	0		7
福島県	0	7	2	2		11

	1	2	3	4	5	計
山形県	0	1	0	1	1	3
宮城県	1	4	3	0	×	8

### 北海道東北ブロック実務者会議

平成17年11月26日(土)秋田県秋田市「協働大町ビル」に於いて、平成17年度北海道・東北ブロック実務者会議が開催された。山歯技からは、赤塚会長、大友・齋藤・櫻井副会長、鈴木理事が出席した。中西茂昭日技会長が「日技50周年記念大会での阿部下にご臨席いただくまでのエピソードなども交え感謝とお礼を述べ、このブロック会議が意義ありますことを願う。」と挨拶された。続いて、大日向均ブロック長が「これからの歯科技工士の課題はかなり厳しいことが予想される、反省を踏まえ対策を考えていかなければならない。それには、皆様の協力が必要である。」と挨拶された。初めに、構造設備基準等説明会が、古橋博美常務理事よりこれまでの経過が説明され、平成17年3月18日に厚生労働省医政局長通知の「歯科技工士の構造設備基準及び歯科技工所における歯科補てつ物等の作成等及び品質管理指針について」解説された。

なお、詳しくは日技のホームページ「歯科技工所運営対策部」に「手順書」基本フォームと題して<http://www.nichigi.or.jp/gikojo-unei050601.htm>に更新されます。続いて、次期参院選に関する勉強会として、宮野亮三連盟副会長より、前回の反省を踏まえこれからの対策が必要との話であった。各県からも、役員と会員の温度差、さらには会員の選挙離れ、選挙マニュアルの必要性など切実な現実問題として意見を述べた。



### 第47回東北ブロック秋田会議

翌日、第47回東北ブロック秋田会議が先日と同じ会場で行われた。大日向均ブロック長が「連日のハードなスケジュールですが、よろしく議事を願う。」とあいさつされた。議長に秋田の今野専務理事、議事録署名人には青森県と山形県が選出された。各県の会員数及び代議員数の確認が行われ、各県の提議題が話し合われた。主な議題として①『職拡充における各県の取り組み方』②『公益法人会計基準の改正についての対応』③『次期参院選に向けての取り組みと対策』など、各県の現状と対策が論じられ③に関しては「各県別々ではなく東北ブロックとして統一した考えで進めなければまた同じことの繰り返しになる。」と熱く話し合われた。

### 山形県歯科医師会 創立100周年

山形県歯科医師会は創立100周年を迎え、それを記念して11月12日、13日に山形グランドホテルにて記念大会が開催された。13日にはデンタルファミリー学術講演会が「コミュニケーション」をテーマに開催された。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の各会のコミュニケーションについてのアンケート集計結果について報告され、鈴木基形歯学術常任委員長、鈴木栄三山形歯科専科専科長、黒沼千津子山歯衛会長、赤塚幸伸山歯技会長がシンポジウムでパネリストとなり身近なテーマを基に将来のデンタルデンタルファミリーコミュニケーション像をディスカッションした。



寒い日が続いておりますが健康に留意されまして、よいお年をお迎え戴き、新年会で元気にお会いしましょう。